

# 松本大学

## 松本中心市街地タウンマップ ～タウンコンパス～

---

発表者 水谷 通章  
高橋 進  
高橋 未紗



# 活動のきっかけ

---

- 2005年(大学3年)の前期に松本中心市街地をアウトキャンパス
- アウトキャンパスの後で学生同士で話し合い
- 何度も話し合った結果、地域で自分たちが生かせることはないかと考える

# 地域と関わる前の学生の考え(3年時)

---

- 「観光客が対象のガイドブック」
  - 「市民が対象のガイドブック」
  - 「市街地を歩きたくなるようなガイドブック」
  - 「見た瞬間に行きたい場所がわかる」
  - 「福祉関係のガイドブック」など
- 主に景観を中心としたマップ作成予定

# 地域との関わりをもってからの考え(現在)

---

## □ テーマ

「バリアフリー」

「親子連れ」

「自然」

## □ 地域にある問題点をテーマにマップ作成に取り組む

## □ 媒体

HP(ホームページ)

# ユニコスさんとの経緯・活動

---

## □ 経緯

ユニバーサルデザインの勉強が必要  
商工会議所の柄澤さんによる紹介(ネットワーク)

ユニコスの会議に参加

## □ 活動

松本中心市街地トイレ調査

今後の松本市バリアフリーについての会議

# タウンコンパスの経緯・活動 ～ユニコス・ぴあネット・松本大学～

---

## □ 経緯

松本市全体の組織区の統一化

ユニコスと松本大学では、まだ分からないことがあったのでぴあねっと21との協力が不可欠、

ユニコスやぴあねっと協力して松本市に統一した考え方やマップなどを一緒に作っていくため

## □ 活動

タウンコンパスでの会議

タウンコンパスによるトイレ調査

あがたの森のトイレをぴあネット(障がい者)の視点から考える問題点を出してもらう

# 活動を通して良かったこと

---

- 松本市の今の現状を知ることができた
- 活動を通じてネットワークが広がることもできた
- 社会人と接することにより自分のスキルアップができたように思える

# 活動を通しての苦勞

---

- 私たちの活動をどう広げて行けばいいのかわからなかった(ネットワーク)
- 学生と社会人との違いによるコミュニケーション
- 今実行しようとしている私たちの活動を自分たちの技術では何が出来て何が出来ないのかという境界線
- 学生のモチベーションの格差

# 今後の予定

---

- タウンコンパスでの活動でのネットワークの拡大
- 早めに自分たち出来ることを実行する
- 今後、自分たちが大学を卒業してプロジェクトから抜けたときによる次の引継ぎ者を探す